

発電設備量 [100万 kw]

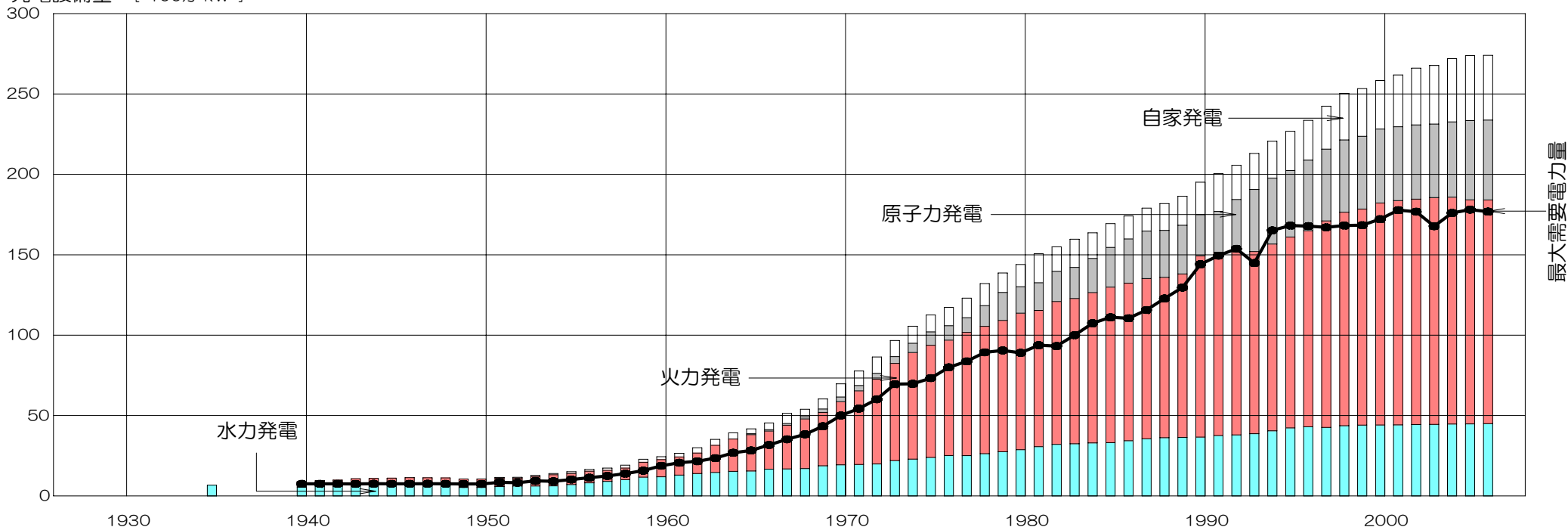


図. 発電設備容量と最大需要電力量の推移
(最大需要電力量は電気事業に関するもののみ)

(出典元：総務省統計局、電気事業連合会)

●最大需要電力量が水力・火力発電でまかなえなかったことすらほとんどない

ただ、電気は貯めておけないので、「一番たくさん使う時にあわせて発電設備を準備しておく必要がある、だからやはり原子力は必要だ」と国や電力会社は言います。しかし、過去の実績を調べてみれば、最大需要電力量が火力と水力発電の合計でまかなえなかったことすらほとんどなかったのです (図参照)。電力会社は、水力は湧水の場合には使えないとか、定期検査で使えない発電所があるなどと言って、原子力発電所を廃止すればピーク時の電気供給が不足すると主張します。

しかし、極端な電力使用のピークが生じるのは一年のうち真夏の数日、そのまた数時間のことでしかありません。かりにその時にわずかの不足が生じるのであれば、自家発電からの融通、工場の操業時間の調整、そしてクーラーの温度設定の調整などで充分乗り越えられます。今なら、私たちは何の苦痛も伴わずに原子力から足を洗うことができます。

わずか数日のために、何万年にもわたってあらゆる生物に深刻な影響を及ぼす原子力を使う必要などないのです。

つまり、原子力がなくても日本の電力はまかなえるのです。